

説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.6	ページ	p.61	行	35行目
事業名	安全利用のための対策		河川名	淀川・宇治川・桂川・木津川			
府 県	大阪府・京都府	市町村	沿川市町		地先		

現状の課題
 近年水と緑の貴重な空間として河川空間が注目され、年々利用者が増加している中で、歩行者等の移動に対して縦断的に分断されている地区があり、その改善が望まれている。

河川整備の方針
 歩行者や自転車が堤防の天端や河川内を安全に連続して移動できない区間については、河川環境に配慮し小径の確保を図る。

位置図

具体的な整備内容
 歩行者や自転車が堤防の天端や河川内を安全に連続して移動ができない区間では、人が河川を縦断的に移動が出来る連続性のある小径等を確保する。

事業の数量 諸元等
 河川環境に配慮し、地域要望を踏まえ確保する。

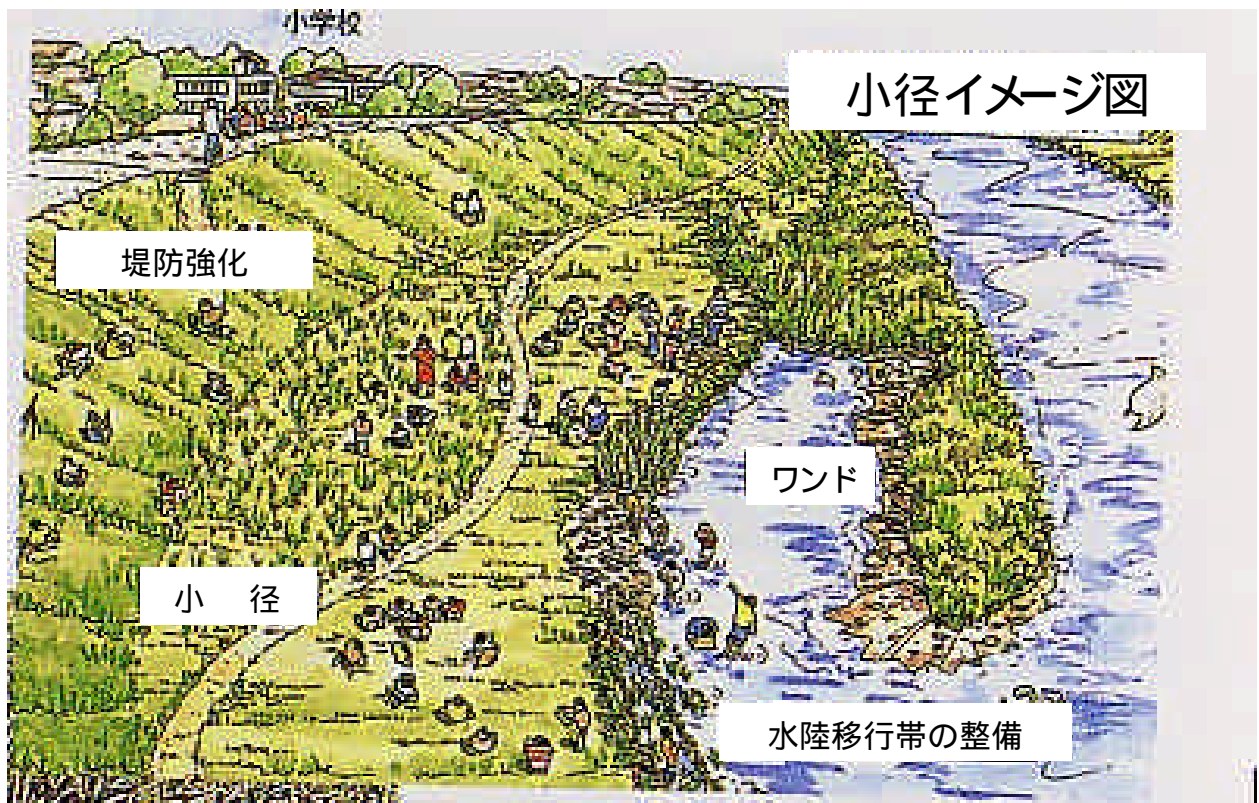
スケジュール

環境影響を検討し確保する

H15 H17 H19 H21 H23 H25

— 検討

連続して通れる小径のイメージ



整備効果

動植物のみでなく、川沿いに人も縦断的に連続して移動できる小径を整備することにより上下流の移動の確保が行える。

河川独自の生態環境にふれあえる機会が与えられ、日頃からの環境教育の場となる。

環境教育の場のイメージ



提案理由

河川内を連続して移動できる小径の確保

場所によっては、河川内及び堤防天端を人が安全に移動出来ない箇所があり、川沿いに人も縦断的に河川内を移動できないところがある。

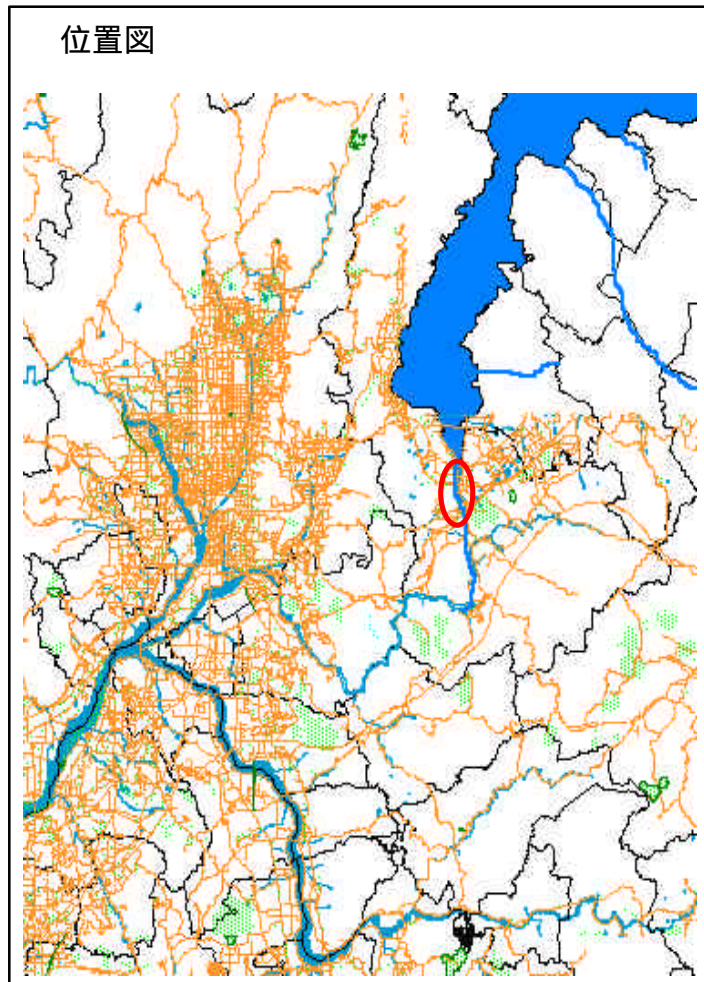


堤防天端は兼用道路であり交通量が激しく
安心して歩けない

説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.6	ページ	p.62	行	3行目
事業名	安全利用のための対応		河川名	瀬田川			
府県	滋賀県	市町村	大津市		地先	左岸:瀬田3丁目~黒津4丁目 右岸:螢谷~南郷1丁目	

現状の課題
 近年水と緑の貴重な空間として河川空間が注目され、年々利用者が増加している中で、歩行者等の移動に対して縦断的に分断されている地区があり、その改善が望まれている。

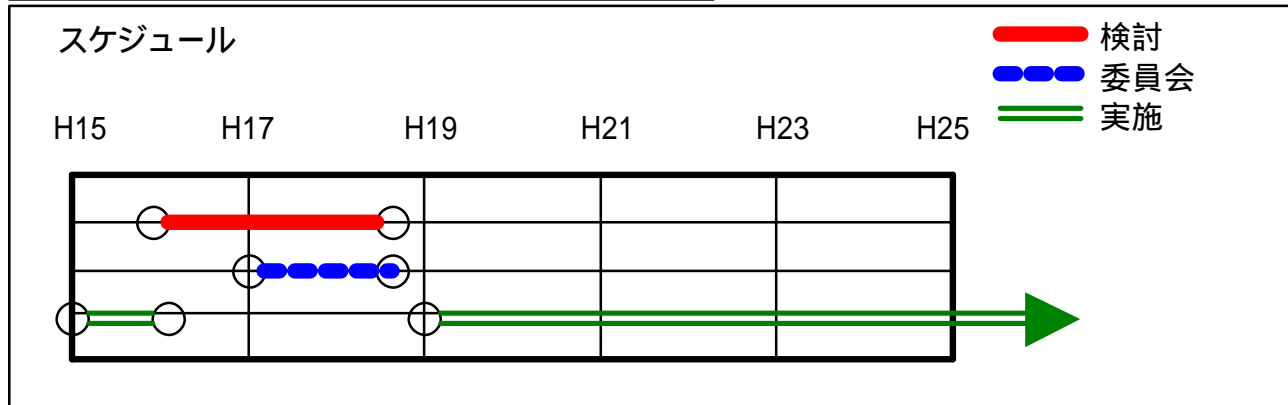
河川整備の方針
 歩行者や自転車が堤防の天端や河川内を安全に連続して移動できない区間については、河川環境に配慮し小径の確保を図る。



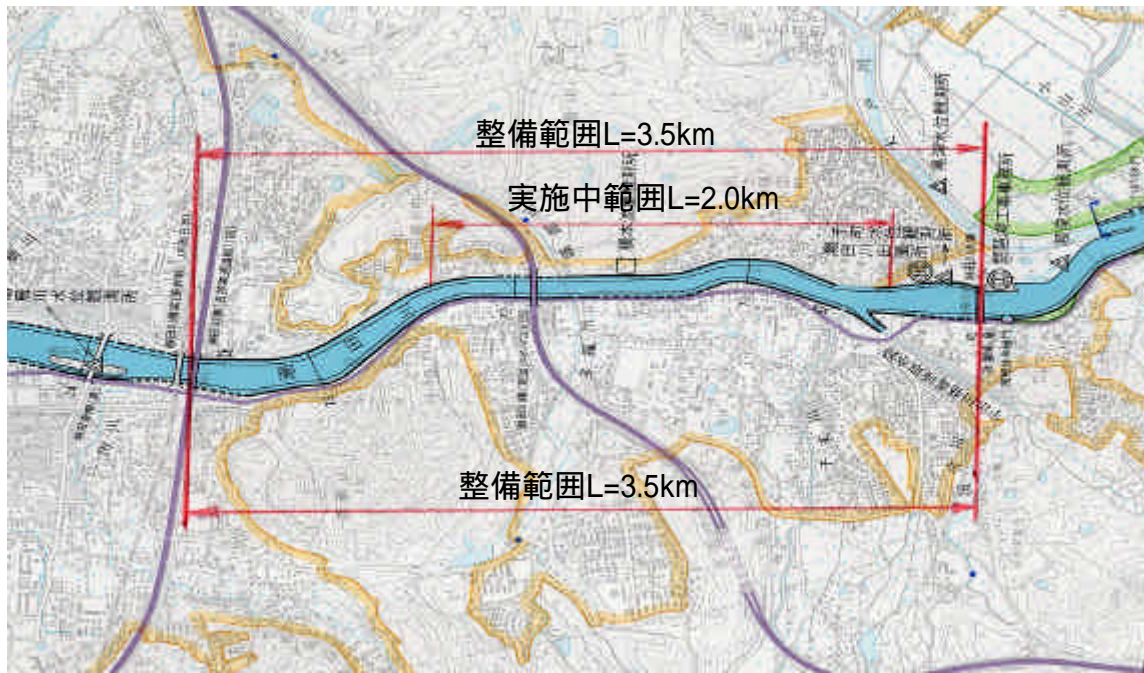
具体的な整備内容
 瀬田川においては、水辺に親しみ、河川利用拠点間を安全・快適に移動できる散策路整備を継続実施する。(名神高速道路瀬田川橋梁下流~瀬田川洗堰区間)

事業の数量 諸元等
 事業範囲 L = 7km
 継続部分(L = 2.0km)を除きその他は、瀬田川水辺利用者協議会(仮称)の意見をきき実施。
 ・うち整備計画期間内の数量 諸元等 同上

事業費
 全体事業費 約 26億円
 ・うち執行済 約 3億円
 ・うち整備計画期間内 約 23億円
 ・うち整備計画期間以降 0円



平面図



横断図

稲津継続部分



高水敷整備前



高水敷散策路整備状況



捨石設置状況

整備効果

平成 6年度より整備してきた当該地区上流の「唐橋公園」付近の整備済み区間において、水辺に親しむ空間として広く市民に利用されている。また、不法駐車のを是正対策も兼ねて整備したことにより、河川環境の改善にも効果があった。現在、散策路は自転車等による通勤・通学路として利用する人も増えている。



不法駐車のを是正

唐橋公園石舞台



散策路整備



≡ 整備状況



捨石状況 (植栽自生)



提案理由 (代替案含む)

瀬田川は、琵琶湖と京阪神経済圏を貫流する淀川との接点に位置し、自然・社会・歴史的に重要な存在である。

瀬田川周辺には、石山寺・建部大社・立木観音や瀬田唐橋・旧南郷洗堰といった歴史・文化的遺産が点在し、大日山や鹿跳といった美しい山水風景をかもしだす箇所も有している。これらは、瀬田川の清流と調和して、四季折々において人々の心にしみいる風景を創り出している。

唐 橋



旧南郷洗堰



石山寺



建部大社



河川沿いには歩道のない幹線道路が走り危険であり、人が川に近づきにくい状況である。



そこで、瀬田川環境整備を進めることによって瀬田川とその水辺、そして周辺の自然・歴史・文化的資源とが織りなす景観の資源的価値を高め、瀬田川の清流と沿川の美しい風景のなかで遊びくつろぎ、ゆっくりと去りゆく時を心ゆくまで満喫できる河畔創造を図る。また、瀬田川の美しい河畔景観を後世へと継承していくため、水辺景観の構成要素となる植生等水辺生態系の創出を図る。